

# 原発事故避難計画、通学路整備などで市長らと論戦へ

3月定例議会の一般質問は、3月16、19、20、22日の4日間にわたって行われます。日本共産党の4人の議員は今回も全員が登壇します。今回の通告者は22人。1日5～6人のペースですので、日本共産党の各議員の一般質問は22日になりそうです。

## 上野公悦議員＜18番目＞

1. 柏崎刈羽原子力発電所の重大事故時における避難計画と再稼働問題について

- (1) 避難計画について以下の点を聞きたい。  
ア「実効性ある避難計画」への市長の認識。  
イ「原発事故時の対応」への住民意識調査では、原発から概ね半径5～30km圏内の多くの住民は避難指示前に避難を始めるとしている。市長はこれをどう見るか。

ウ 事故は、大地震や津波、大雪など複合災害が予想される。被ばく者を出さない避難計画に見直すべきと思うがどうか。

- (2) 住民意識調査では、半径30km圏内全体で「原発再稼働反対」が過半数、「30km圏内の全市町村の同意が必要」が圧倒的多数に上った。市長は、原発再稼働反対、安心安全なエネルギー政策、廃炉工程への全面転換の立場に立つべきと思うがどうか。また、「協定」による現在の地元同意を見直すべきと思うがどうか。

## 橋本正幸議員＜19番目＞

1. 住宅リフォーム促進事業について

- (1) この事業を進めるに当たって、市内業者の要望をどのように把握しているのか。
- (2) 市内経済における効果を鑑み、前年並みの予算を確保すべきではないか。

2. 通学路の安全確保について

- (1) 通学路のチェック体制整備後の状況把握や整備状況について明らかにされたい。

3. 歩道整備について

- (1) 極端に狭い歩道や車道との段差のある歩道、凹

凸のある歩道等、安全な通行や市民の利便性に支障のある歩道の状況をどのように把握し、どう対応するのか。

## 橋爪法一議員＜20番目＞

1. 今冬の大雪について

- (1) 除雪時の事故、農業被害、公共交通機関の運休などの実態把握と課題の整理についてどうであったか。

- (2) 水道管破裂・漏水が多発した。その実態と支援策について聞きたい。

- (3) JRやトキ鉄、頸城自動車が大混乱し、通勤や通学に甚大な影響があった。市は各社に対し除雪体制の強化や公共交通機関としての役割をどう求めてきたのか。

- (4) 降雪観測地点の見直しの必要性に関する市長の見解はどうか。

- (5) 道路除雪において、産業建設グループの集約の機能の実態と評価を聞きたい。

2. 上越市庁舎再編基本方針の策定について

- (1) 木田第1庁舎を基幹庁舎として、耐用年数を超え、80年間使用継続するとした基本方針策定の重視ポイントは何か。

- (2) ガス水道局の新庁舎構想について聞きたい。

## 平良木哲也議員＜21番目＞

1. 子どもの貧困対策について

- (1) 当市の子どもの貧困について、どんな手立てでどのように実態把握しているか。

- (2) 子どもの貧困への対策として、どのような手立てを講じているのか。

2. JR在来線のダイヤ改正について

- (1) 今春のダイヤ改正による市民生活への影響への認識とJRへの働きかけを問う。

3. 医療費助成制度について

- (1) 重度心身障害者医療費助成事業の対象に「精神障害者保健福祉手帳1級の交付を受けている人」だけでなく2級まで対象拡大を図る考えはないか。

- (2) 妊産婦医療費助成について、所得制限を撤廃する考えはないか。

# 日本年金機構の過少支給問題で市当局に緊急要請



日本共産党議員団は、12日、日本年金機構による年金の過少支給問題で、上越市健康福祉部長に緊急要請を行いました。この問題は、年金機構が昨年、「扶養親族等申告書」の形式や記載内容を変更し、はがきから封書に変わったことから、これまでのような申告書だと気づかず、提出しなかった人や提出期限に間に合わなかった人が多く、その結果、2月の年金支給が本来よりも少なくなる人が続出したというものです。

「しんぶん赤旗」や朝日新聞などでも報道されています。日本共産党議員団は、12日、日本年金機構による年金の過少支給問題で、上越市健康福祉部長に緊急要請を行いました。この問題は、年金機構が昨年、「扶養親族等申告書」の形式や記載内容を変更し、はがきから封書に変わったことから、これまでのような申告書だと気づかず、提出しなかった人や提出期限に間に合わなかった人が多く、その結果、2月の年金支給が本来よりも少なくなる人が続出したというものです。

大島区菖蒲地区の避難訓練にて橋爪団長が講演。2011年3月11日は、東日本大震災と福島第一原発重大事故で多くの犠牲者が出た日ですが、その翌日3月12日早朝に勃発した長野県北部地震でも大きな被害が発生しました。東日本大震災の全国的な報道に埋もれ、同地震の被害の大きさはあまり語られていませんが、上越市内でも重症者4人、全壊2棟、半壊18棟、一部損壊201棟もの被害が発生し、これを機に移転や市民もいます。大島区菖蒲地区では、この災害を忘れません。

今年3月11日に行われ、橋爪団長が招かれて、熊本の災害対応、議会での議論の状況などについて講演しました。いと、毎年3月第2日曜日に防災避難訓練を行い、関係各所からの講話や講演を聞いています。



**日本共産党上越市議員団ニュース**  
No. 585 2018年3月18日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
絡 橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)  
先 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
平良木哲也 090-1808-6919 (上中田)